

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0176700540		
法人名	有限会社 そうせい舎		
事業所名	グループホーム あったか宝来館		
所在地	稚内市宝来2丁目2番19号		
自己評価作成日	平成24年8月20日	評価結果市町村受理日	平成24年9月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者さん、家族、地域の皆さん、職員が笑顔で交わり大きな環となって共に支え合いながら暮らしていけるグループホームを目指しています

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0176700540&S_CD=320&PCD=01
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成24年9月6日

<法人内外の研修を受ける機会の確保>
 外部から言語聴覚士等を招聘し、摂食嚥下や高齢者の誤嚥・窒息、口腔機能の研修会を法人内部で開催したり、感染症(インフルエンザ・ノロウイルス等)対策や介護事故と再発防止策などの外部研修に積極的に参加し、職員の段階に応じた研修実施でケアサービスの質の向上に取り組んでいる。

<一人ひとりの力や希望に応じた支援>
 近隣住民や地域ボランティア、家族や友人・知人等に敬老会参加を呼び掛けて、馴染みの人との交流や家族との関係が途切れないように支援に努めている。また、一人ひとりのその日の希望に沿って公園での足湯やお祭り見物、新年会参加やサマーフェスティバル見物等戸外に出かける機会を設け、気分転換や思いを叶える支援に努めている。

.サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)				項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目		取り組みの成果 該当するものに印		項目		取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらい	
		4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない	
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように	
		2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度	
		3. たまにある				3. たまに	
		4. ほとんどない				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 少しずつ増えている	
		3. 利用者の1/3くらい				3. あまり増えていない	
		4. ほとんどいない				4. 全くいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 職員の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 職員の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 利用者の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 利用者の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族等の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族等の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が					
		2. 利用者の2/3くらい					
		3. 利用者の1/3くらい					
		4. ほとんどいない					

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を掲げ、ケアする上での指標としている	事業所独自の理念を作り上げ、内部研修やミーティングを通じて理念を共有し、その実践に取り組んでいる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地区の祭りや草刈に参加している。挨拶や立ち話など日常的に交流はある	近隣住民や地域ボランティア、家族や友人・知人等に敬老会参加を呼び掛けて、馴染みの人や地元の人々との交流に努めている。また、火災避難訓練の際には、住民も参加し、協力体制を築いている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談に来られた方には適時、助言や支援をしているが、地域へ積極的に発信するまでには至っていない		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族委員の変更があり開催出来ていない 地域委員には、サービスの実際などお話しご意見を頂いている	運営推進会議では、事業所の取り組みや利用状況等について具体的に話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の開催を年6回を目安に定期的に開催できるよう内部で話し合い、計画しているのでその実践に期待します。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	月一度事業所便りを閲覧して頂いている 市の行う研修やアンケートには出来るだけ参加、お応えしている	市担当者や宗谷総合振興局担当者とは、地域ケア会議や定例の研修会、日常業務を通じて情報交換を行い、協力関係を築くよう努めている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠を含め、身体拘束しないケアを基本としている。日々のケアの中で生じる細かな事象についてはその都度話し合っている	全ての職員が指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を法人内研修や日々の業務を通じて正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	日々のケアの中で虐待にあたらないか考え話し合っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	資料等を配布し基本的概念は理解しているが制度を利用している方がおらず、知識はあるが活用にまで至っていない		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に改定があった場合など、改定点について十分な説明を行い理解・納得を得られるよう努めている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や家庭訪問時に御家族の意見要望をお聞きしている。市役所にも苦情相談窓口がある事もお話している	「あったか風便り」で職員や新しい利用者の紹介記事が掲載されたり、一人ひとりの日常生活の様子や健康状態等を職員自筆のお手紙で報告し、意見や要望等言いやすい機会を設けている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングに代表者も出席し、職員の意見を聞く機会を設けている。管理者も介護に従事し職員の意見、提案をいつでも聞くことができる	ミーティングや日々の業務を通じて職員の意見や要望、提案を聞くよう機会を設け、それらを運営に反映するよう取り組んでいる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は全職員の実績、勤務状況を把握している。やりがいを持つ職場環境の整備に向け努めている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は個々の力量を把握し、社外研修に派遣している。社内研修も開催し職員のケアの向上に努めている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	活発とは言えないが、当法人主催の講演会に市内外の同業者の参加があった		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化による不安が強く早くなじめるよう努めている。聴取するのではなく会話の中で本人の思いを汲み取っていくようにしている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族に思い等、十分に伺い、当ホームの理念をお話させて頂き早期に信頼関係を築けるよう努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族とのお話の中から優先すべき事を見極め対応している		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事仕事など本人が今できる事を、職員と共にしていただいている		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	関係が途絶えないよう毎月、市内市外の家族へ広報紙と共に、近況報告を兼ねたお手紙をお届けしている。ホームでの催し物など、一緒に楽しめる様お誘いしている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人が訪ねて来られたとき、一緒に記念写真を撮りお渡ししている。馴染みの店や場所へ出かけられるよう支援している	本人がこれまで大切にしてきた床屋や店での買い物、足湯やラーメン・うに丼等の外食で馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格、能力の把握に努め、相性など考慮し食卓席やリビング席に配慮している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了は死亡によるものが全てだが、その後の公的手続き等、家族からの相談、支援要請に応じている。ショート利用者についてもフォローに努めている			
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の中で本人の希望や思いを話してもらえよう努めている。思いを上手く伝えられない時は仕草や表情などから本人の意向の把握に努めている	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、職員間で情報の共有が行われている。また、うまく表現できない本人にも表情や仕草から意向の把握に努めている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に家族、関係機関より情報収集に努めている。入所後も本人との会話の中で、生活歴や好まれる事などを聞き職員間で共有している			
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録、連絡ノート等を活用し、現状の把握に努めている			
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画は半年で見直ししているが状態変化があった場合は、その都度モニタリングし計画変更している	家族の意見や要望、職員からの提案やアイデアを反映し、現状に即した介護計画となっている。また、状態変化時には都度、介護計画を見直ししている。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画と記録表を連動させ、職員間で情報を共有している			
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況はもちろんの事、家族の状況を把握し必要な支援を行っている			
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会に加入しており行事に参加している。奉仕活動など本人の能力に合わせ参加している			
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医ある場合、同じ医師から診察を受けるようにしている。状態変化ある時、その医師から他医を紹介してもらっている	通院への支援や訪問診療で医師・看護師との連携で適切な医療を受けられるように支援している。また、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の看護師に相談し適切な受診や看護を受けられるよう支援している		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時、家族と共に医師の説明を受けている。入院時も毎日職員が見舞い食介などに訪れている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	体調不良、入院などの機会に家族の意向を伺い話し合っている。ホームで出来る事、出来ない事をお話し理解して頂いている	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に救命講習を行っている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協体制を築いている	夜勤帯、日勤帯をシュミレーションし年2回、地域の方も参加して頂き、避難訓練を実施している	火災自動通報装置は、近隣住民や運営推進委員も登録され緊急時に地域の協力が得られるように取り組んでいる。また、地震・津波等の自然災害を想定した避難経路の確保や避難場所について話し合いが行われている。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室立ち入りには必ず声をかけている。排泄後の処理の際には特に言葉かけに配慮している	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように内部研修やミーティングを通じて職員間に周知している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まず本人の意向を聞き、判断出来ない場合でも選択肢を提示し自己決定につなげるよう努めている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかなタイムテーブルはあるが、その日の個々の体調、気分での生活ペースを最優先している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時のおしゃれ着など職員と一緒に選んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	パン食を好まれる方にはパンを提供するなど個々の好みにあわせた食事を提供し、準備や食事を職員と一緒にしている	一人ひとりの力や好みを活かしながら職員と一緒に料理の準備や味付け、後片付けや漬物漬け等支援している。また、ラーメンやうどんなど本人の希望する外食支援をしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせて形状を工夫して提供したり、摂取量の少ない方には栄養剤を提供するなど栄養バランス、水分量が確保できる様、努めている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の声かけと共に、個々の状態、能力に合わせたケアをしている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表でパターンを把握し、声かけ誘導を行ないトイレでの排泄を支援している	一人ひとりの力や排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるように支援している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便表で確認し適時便秘薬を与薬している。個々の能力に合わせた運動も継続して行っている		
45	17	入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時間は決めていない。体力的に入浴が難しい方は、シャワー浴で対応出来るところは対応している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴が楽しめるように支援している。また、拒否の強い本人にも柔軟に対応している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	部屋で休まれたり、ソファで休まれたり気ままに休息している。夜間巡回時は眠りを妨げないよう配慮している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のファイルと受診報告をひとつのファイルにし薬の内容、変更など情報が解るようにしている。個々の状態にあわせた服薬支援をしている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節の壁ディスプレイや、行事に使用する花や凧づくりなど個々の力にあわせて行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新しい観光施設などへドライブや外食をかねて行く様になっている。散歩や畑、近所のお庭見学など外出機会が持てる様支援している	一人ひとりのその日の希望に沿って公園での足湯やお祭り見物、新年会参加やサマーフェスティバル見物等戸外に出かける機会を設けたり、ラーメンやウニ丼など本人の希望する外食支援など普段行けない場所にも出かけられるように支援している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は家族より委任状を受けホームで管理している。ご自分でお金を所持されている方はいるが買い物で使う事はほとんどない		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じ電話をかけたり、手紙を書いたり出来るよう支援している		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感ある壁作りを作り飾っている。普通の家庭的な雰囲気をたもてる様に努めている	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、共用空間では、一人になったり、談笑できるように椅子やソファが配置されていたり、季節ごとの飾り付けや手作りの作品の掲示などで家庭的な雰囲気を考慮し、本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	特別なスペースはないがソファに座ったり、テーブルで手作業しながらお話ししたりしている		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や寝具、お気に入りの人形など部屋に入るものならば持ち込み自由にレイアウトして頂いている	居室には、馴染みの家具や寝具、家族の写真や人形等が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴槽の表示は大きくわかりやすくしている。各戸の表札は「さんの家」として本人の生活の場である事を示している		

目標達成計画

事業所名 グループホームあったか宝来館

作成日: 平成24年9月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議委員の御家族が、ご利用者退所に伴い相次いで辞任され、後任の委員がなかなかきまらず推進会議を開催できていない	定期的な運営推進会議の開催	運営推進会議の必要性を、ご家族に理解してもらい委員として参加していただく より広範囲に地域の方へ呼びかけ多くの方の参加を求める	2ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。